

鹿児島純心女子大学における外国人留学生数及び留学生の就職率

文部科学省高等教育局学生・留学生課長名による平成31年4月12日付文書“31高学留第5号”に基づき、日本国内での就職を希望する留学生に資するよう、以下のとおり情報を公表します。

外国人留学生数（令和4年5月1日現在）

留学生数	国籍	所属
1	ベトナム	国際人間学部 ことばと文化学科

【担当部署：学生支援課】

留学生の就職率（令和3年度実績）

卒業(修了)者	就職希望者	就職者	就職率
0	0	0	—

【担当部署：学生支援課】

就職支援に係る取組

外国人留学生を含む学生一人ひとりが能力、適性、意欲などを最大限に発揮できる職業、職場などを自ら選択し、決定していくように適切な資料や情報の提供を行い、1年次生の段階から次ページのとおり、進路の相談・支援に努めています。

【担当部署：進路支援課】

進路支援

卒業後の進路は、教員、公務員、企業、病院、福祉施設、各種団体等への就職に加えて、大学院進学、外国留学など様々です。進路の決定は、人生を大きく左右するものであり、どの進路を選択するにも入学当初から学生生活に対する真摯な取り組みが肝要であり、特に就職試験などでは、専門知識や一般常識に加えて、学生生活で学んだことや体験したことなどが問われます。

職業選択については、まず、自己の適性を知り、専門を活かし「何をしたいのか」「何ができるか」を見定め、夢や希望を達成できる職種・職場を見出すこと、さらに学問を究めるための大学院等進学や語学留学など自らの進路を切り拓いていくことが大切です。

そのため、進路支援委員会、担任、進路支援課では、学生一人ひとりが能力、適性、意欲などを最大限に発揮できる職業、職場などを自ら選択し、決定していくように適切な資料や情報の提供を行い、以下のように進路の相談・支援に努めています。

(1) そのための準備

進路支援担当者は、年間の「進路支援対策計画」に基づき、進路ガイダンスを推進し、適宜、就職・進学相談に応じて学生の進路活動が円滑に行なわれるよう積極的に対応します。学生は、いつでも気軽に進路支援課室を訪れ、企業研究や大学院等の資料の閲覧、進路相談を行い、将来の夢実現に向けて着実に準備を整えてください。

後援会検定補助金を利用して検定級上位を目指し、語学力や実務能力を高めましょう。また、進路に関する図書の貸出サービス、資料室の文書データを活用してください。

(2) 1・2年次の進路ガイダンスおよび留意点

1・2年次生対象の進路ガイダンスは、学生としてのみならず、社会人としての基礎を築くために、「マナー・マイク講座」、「自己表現講座」、「S P I ってなあに」等の講座を実施します。これらの進路ガイダンスに積極的に参加するとともに、次のような点に留意して学生生活を有意義に過ごし、将来の夢実現に役立ててください。

- ① 学生生活4年間の目標を立てる。
- ② 正課の授業で専門性を深める。
- ③ 新聞、雑誌、専門書等で見聞を広める。
- ④ インターンシップ事業に積極的に参加する。
- ⑤ 学生会活動、サークル活動、ボランティア活動等に意欲的に取り組む。

(3) 3年次の進路ガイダンス（キャリアセミナー）

3年次は、看護学科以外の学科を対象として進路選択に直接関係の深い講座等を15講座選定し、手続きを経てキャリアセミナーとして単位を認定しています。実際の就職活動は、企業や職種によっては3年次の3月ごろから始まるので、次の点に留意して遗漏のないように心がけてください。

- ① 進路ガイダンスの講座内容を参考にしながら、自分の職業適性の認識を深め、自己分析を行い職業選択の具体的な方向性を定める。
- ② 進路についての適切な助言と支援を受けるための学内基礎資料となる「進路登録票」を提出する。
- ③ インターンシップ事業に積極的に参加し、企業や学校での職場体験を通して職業観を養う。
- ④ 各学内実習はもとより、臨地実習等の学外実習に真剣に取り組み、充実した成果をあげる。

(4) 4年次の進路ガイダンス

看護学科は、他の学科が3年次に受けたキャリアセミナーの中で学科に必要な内容の講座を4年次に行ないま

ですが、全学科を通じて、4年次には原則として、学生一人ひとりのニーズに対応した相談・支援を行ないます。次の点に留意しながら、担当の教職員と綿密な連携を図り、目標達成に邁進してください。

- ① 企業や病院分析（業種・職種・業務内容・経営理念等）を周到に行い、実際に訪問して目指す職場であるかを調査・確認する。
- ② 応募書類（エントリーシート及び履歴書等）の点検・確認、添削指導、面接指導等で万全を期す。
- ③ 夢実現に向けて、家族、友人、教職員の助言や協力を得て、最後まで果敢に挑戦する。
- ④ 進学・留学等については、担任や関係教職員とよく相談するとともに、進路支援課の資料等を参考に受験に備える。
- ⑤ 活動の結果、内定や進学先が決定したら、内定届と試験報告書（下記様式）を提出する。
- ⑥ 専門分野の研究を深め、国家試験等の合格を目指すなど、学生生活の有終の美を飾る。
- ⑦ ハローワーク就職支援ナビゲーターが週2回来学し、相談を受けているので、多様な進路を模索するため活用する。

就職活動をするうえで確認しておきたい書類

種類		用途と注意点
1	進路登録票	就職、進学、その他、卒業後の進路について相談する際に使用しますので全員提出していただきます。
2	履歴書	就職、進学等において使用する本学様式の履歴書です。無料で配布しております。
3	推薦書交付願	就職試験において推薦書が必要な場合、申請していただきます。なお、選考が必要な場合や、作成に時間がかかりますので余裕をもって手続きを行ってください。
4	就職試験報告書	就職試験、進学のための試験の受験報告をしていただきます。進路指導や後輩の就職活動の参考にします。
5	就職試験出席証明	就職試験に係る公欠の際、必要とする証明書類が得られないときに使用します。
6	就職（進路）内定届	就職活動中、内定が得られたり、希望進学先での合格が出たりしたら速やかに提出いただきます。

様式4

様式6